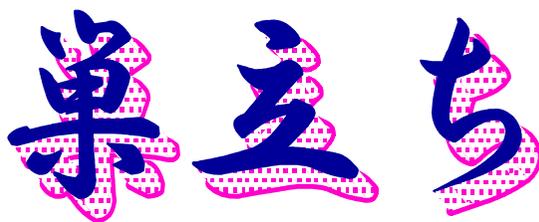


第8号

令和2年
12月7日(月)



加東市立社中学校
生徒指導通信
発行者
植野 謙作(生徒指導)

子どもたちの生活とスマホ

—家族で考えよう正しいネットワークの活用方法—

間もなく冬季休業日を迎えるに当たって、スマートフォン上のアプリに潜む危険性や安全な設定、危険に巻き込まれた事件事例、ネットワーク上の個人情報の拡散などについて1年生を対象に「情報モラル学習会」を行いました。講師でお世話になった兵庫県情報セキュリティサポーターの筒崎真美さんは、加東市ネット見守り隊の特別監視員としてもお世話になっている方です。先日、ネットパトロールを実施されたところ、以下の情報をいただきました。①Instagramに投稿する社中の生徒が増えている。(内容的には、今のところ問題はないようです。今後も正しい利用の仕方を心がけてください。)②生徒だけでなく、保護者も子どもの顔が分かる写真や体操服姿をアップしている。(SNSに載せたものは、見られています。)この2点に関しては、各家庭でご確認、ご注意をよろしくお願い致します。



さて、生徒会保健部の生徒たちが全校生に「インターネット利用アンケート」を実施し実態調査をしてくれました。気になった項目の一つ取り上げたいと思います。それは「家庭でのルールはありますか。」という質問に約55%の生徒が「いいえ」と答えていたことです。きっと、スマホやネット利用に関する家庭内のルールはあるはずですが、保護者と子どもに認識のずれが生じていると考えられます。右ページの表は、「スマホのメリット、デメリット」について考えをまとめたものです。一般財団法人インターネット協会では、特に中学生がトラブルに遭わないように、主要なSNSの利用方法や注意方法などを説明したマニュアル「インターネットを利用する際に、知っておきたい『その時の場面集』」を公開しています。また、安心して利用するために、身につけるべきこと、覚えておくべき基本が紹介されています。そして、その知識の習得を確かめるための「インターネット ルール&マナー検定」のクイズも用意されています。時間のある時にメリット、デメリットを考えながら、家族で取り組んでみてください。



メリット	デメリット
<p>〈防犯・安全〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・GPSで子どもの居場所を把握できる。 〈コミュニケーション〉 ・親との連絡や会話ができる。 ：緊急災害時はより重要 ・友だちとのつながり 	<ul style="list-style-type: none"> ・SNSで自室写真を発信した場合に位置情報が含まれる可能性から犯罪にまきこまれる危険 ・いじめ（被害・加害）
<p>〈多機能性〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電話～通話・電話帳作成と検索の利便性 ・メールやSNSで誰とでもつながる ・地図やナビ ・時計 ・カメラ、ビデオでの撮影および自作映像作成 ・カレンダーと手帳⇒スケジュール管理 ・銀行口座～決済・支払い ・音楽・映画・読書・料理ほか多数 ・ゲーム ・情報収集 	<ul style="list-style-type: none"> ・犯罪に巻き込まれる可能性 ・情報流出⇒口座の乗っ取り ・ゲーム依存症 学習の妨げ ・生活の乱れ⇒昼夜逆転⇒不登校 ・課金や高額通信料の請求 ・偽情報

～冬休みの生活について～

新型コロナウイルス感染において、11月下旬から兵庫県で急激な増加傾向がみられ、警戒指標の最高レベルを超える「感染拡大特別期」に引き上げられました。このような中、国は感染リスクの高まる「5つの場面」を中心に、年末年始の感染拡大を防ぐための情報をまとめています。この事を踏まえて、ご家庭においても気を緩めることなく徹底した感染防止対策をお願いいたします。

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で注意力が低下する。また、睡覚が浅薄し、小さな声になりやすい。
- 特に飲食などで区切られている狭い密閉に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、同じ飲みや箸などの共用は、感染のリスクを高めます。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、傷食に際しては、昼間の通常の食事と比べ、感染リスクが高まる。
- また大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をするなどで、飛沫感染やマイク感染は感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、カラオケや野外のバーベキューでの事例が確認されている。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の個室やトイレなどの共用施設での事例が確認されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まる可能性がある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での事例が確認されている。車やバスで移動する際の中でも注意が必要。



詳しくは、厚生労働省のHPをご覧ください。またインフルエンザについても流行し始める時期です。不要不急の外出は控えましょう。

引用：分科会から政府への提言
(新型コロナウイルス感染症対策分科会)